

まちづくり

宿毛市の重点施策を「7つの理念」に集約し、「地域力」あふれるまちづくりに取り組んでいます。



産業振興

観光振興

防災対策

人口減少対策

子育て支援

高齢化社会対策

文化芸術と
スポーツ振興

命を守る・命をつなぐ

大規模災害時において、大きな力を発揮する「自助」や「共助」の意識醸成や活動への助成に取り組む、「公助」としての対策についても国、県と連携しながら取り組んでいます。



特に、南海トラフ地震発生直後の「命を守る」対策、応急期の「命をつなぐ」対策、復旧・復興期における「生活を立ち上げる」対策は、短期的・中長期的な視点のもと積極的に取り組んでいます。

災害に強いまちづくりへ

災害復旧・復興の司令塔であり、災害対応業務の指揮を行う市役所庁舎を、津波の被害を受けない高台に移転しました。また、避難の実効性の向上のため、津波避難タワーを整備し、津波浸水想定区域にある公共施設で可能なものは高台移転に向けて検討・実施をするなど災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

あわせて、大災害が発生する前から、まちの将来像を検討し、被災後のまちの復興イメージを示すことができるよう計画していきます。

なお、令和3年度に都市計画決定された、四国横断自動車道「宿毛内海道路」は、高台の庁舎北側を通って宿毛新港へと連絡するルートであり、災害発生時における外部とのアクセス道として大きな役割を果たすことが期待されます。

基幹産業の底上げで、新たな雇用を



農業後継者の確保・育成を図るため、農業研修機関として、JA高知県と共同で「一般社団法人スタートアグリカルチャーすくも」を運営しています。こちらでは、イチゴの栽培を中心としたカリキュラムに基づき、安心して農業研修が受けられるような環境を整え、市内外から農業研修生を受け入れています。2年間の研修を受けた後は、市内で農家として独立就農できるよう農地やハウスの取得などの情報提供も行っています。

宿毛の魚を世界へ

米国やヨーロッパなどの海外輸出にも対応可能な衛生基準を満たした水産加工施設が整備されたことに伴い、今後、宿毛湾産の魚のさらなるブランド化を通じて水産業の底上げや地域活性化に繋がること期待されます。

また、漁業者の所得向上や活力ある漁村づくりを図るため、水産物の安定供給や高付加価値化を目指し、「すくも湾中央市場」のさらなる機能強化や加工品製造施設の拡充、後継者育成などを促進します。



観光振興

観光・交流拠点としての「宿毛まちのえき 林邸」



3代にわたって大臣を輩出した近代日本の発展をリードした「林家」が所有していた歴史的価値のある邸宅を最新の建築技術を駆使して改修した「宿毛まちのえき 林邸」は、宿毛歴史館と連携した「歴史観光」の推進や、特産品を活用した産業振興の場とする等、地域経済の活性化を図っています。また、レンタル利用が可能な本館和室では、様々なイベントが行われ「まちづくり」の中心となっており、住民交流の場として活用されています。

日本初 ダム壁面を活用「横瀬川ダム クライミングウォール」

令和2年3月に完成した横瀬川ダムの壁面に、日本初となるクライミング施設を設置しました。高さ約72mのダム壁面に、地上から高さ約63mの場所からスタートする、全長8m程度のクライミングコースを2コース整備しました。

このほか、釣りやダイビングなどのマリレジャー、ロードバイクや電動アシスト付マウンテンバイクのレンタサイクルなど、アクティビティを楽しんでいたただく、自然・体験型観光の取り組みを推進しています。



防災対策

まちづくり

地域資源

特産品

振興計画

基本情報

市のあゆみ

議会